

## 第6回藤沢市地域経営戦略100人委員会

と き 2010年(平成22年)2月27日(土)  
午後2時～4時30分  
ところ 湘南台市民センター

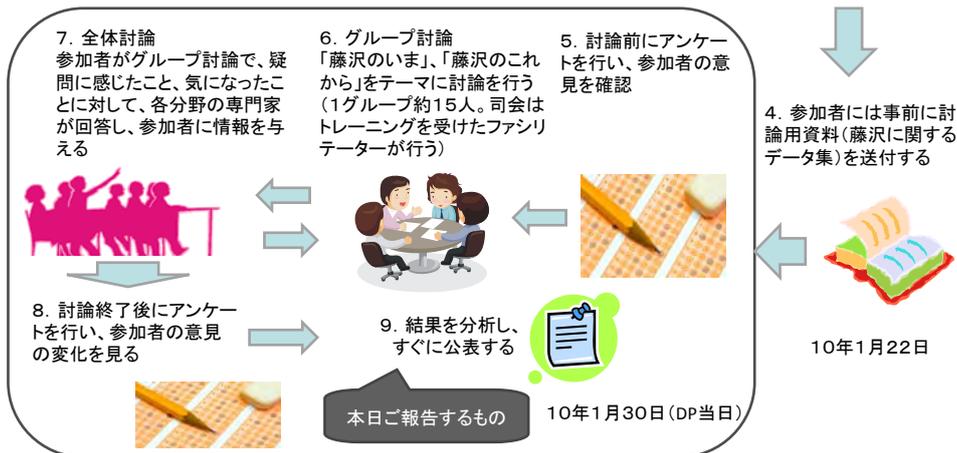
### 次 第

- 1 開会
- 2 新総合計画基本構想について
- 3 「藤沢のこれから、1日討論」の実施結果について
- 4 新総合計画基本計画の検討について
- 5 気づきの収集結果と分類作業について
- 6 その他

事務局  
藤沢市経営企画部経営企画課  
電 話 (0466) 50-3502  
ファクス (0466) 50-8402  
e-mail kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp

# 「藤沢のこれから、1日討論」 アンケート結果報告

慶應義塾大学DP研究会  
藤沢市



## 「藤沢のこれから、1日討論」(藤沢DP)概要

### ○主催

藤沢市役所

### ○企画運営

慶應義塾大学DP研究会

### ○日時

平成22年1月30日(土)9時20分～17時30分

### ○場所

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)

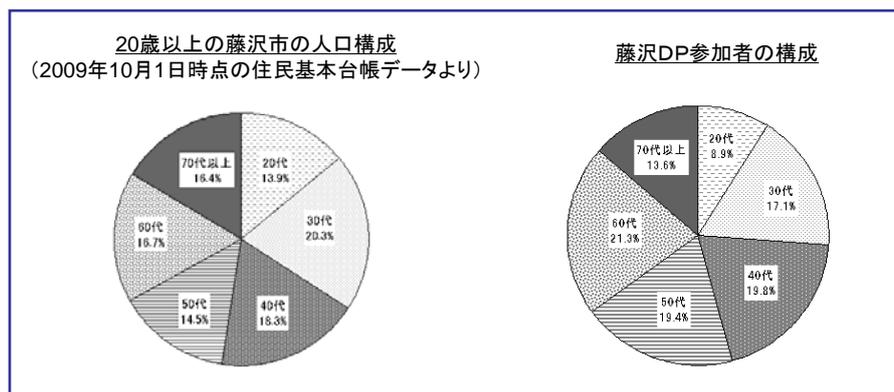
### ○参加者

258名(男性133人、女性125人)

# 藤沢DP当日アンケート調査概要

## 1 調査対象

- ・参加者258名(男性133人、女性125人)
- ・平均年齢:51.1歳
- ・参加者の年齢構成



## 2 調査テーマ

「藤沢のいま」と「藤沢のこれから」に関するアンケート

## 3 調査方法

- ① 討論前アンケートの実施  
グループ討論を行う前にアンケートを実施。  
アンケート内容は、市民の意見・態度を問うもの、事実問題など
- ② 討論後アンケートの実施  
グループ討論での意見交換、全体会議での専門家への質疑応答を経て、討論前アンケートに当日評価の項目を加えた内容で、再度アンケートを実施。

## 4 回収結果

討論前 258(回収率 100%)、討論後 258(回収率 100%)

# アンケート結果①

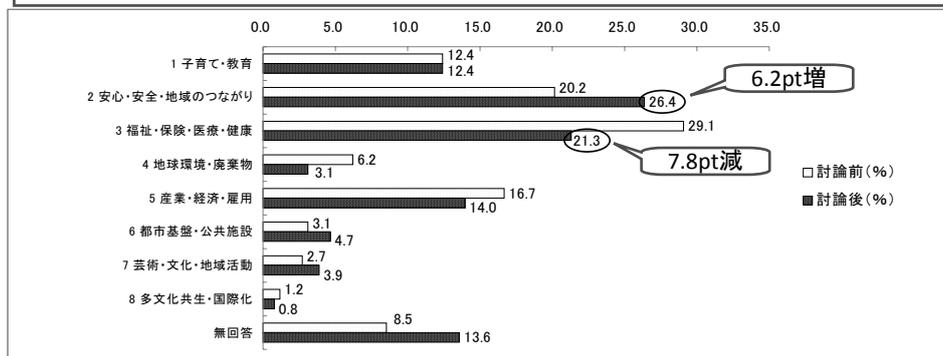
## 政策に対する意見を聞く設問

### 1-1. 「藤沢のこれから」の重要課題は何か

問 「藤沢のこれから」を考える上で、あなたがもっとも重要だと考える課題は何だと思えますか。

#### 【選択肢】

1. 子育て・教育 2. 安心・安全・地域のつながり 3. 福祉・保険・医療・健康 4. 地球環境・廃棄物  
5. 産業・経済・雇用 6. 都市基盤(道路・交通網など)・公共施設(学校、市民センターなど)  
7. 芸術・文化・地域活動 8. 多文化共生・国際化



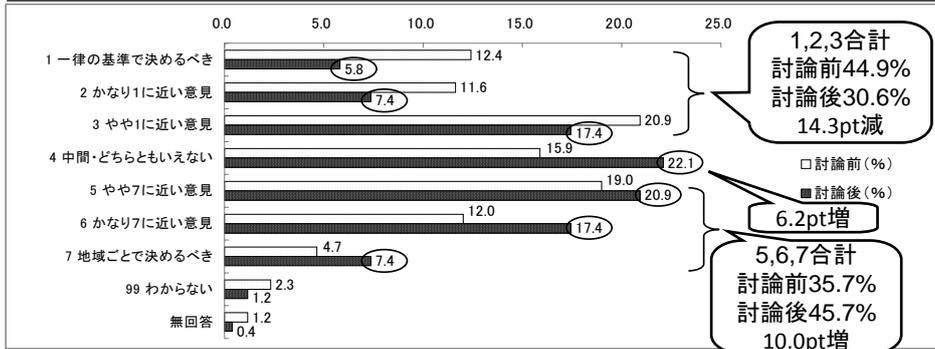
・「安心 安全 地域のつながり」を重視すべきという人(選択肢2)が6.2ポイント増加  
・「福祉 保険 医療 健康」を重視すべきという人(選択肢3)が7.8ポイント減少

### 1-2. 政策は藤沢市一律の基準で実施すべきか、地域ごとの基準で実施すべきか

問 公共サービスは、これまで通り藤沢市が一律の基準で実施すべきか、あるいは住民に近いそれぞれの地域が地域ごとの基準で実施すべきか、どちらが良いと思いますか。

**【選択肢】**

1. 一律の基準で決めるべき 2. かなり1に近い意見 3. やや1に近い意見 4. 中間・どちらともいえない 5. やや7に近い意見 6. かなり7に近い意見 7. 地域ごとで決めるべき 99. わからない



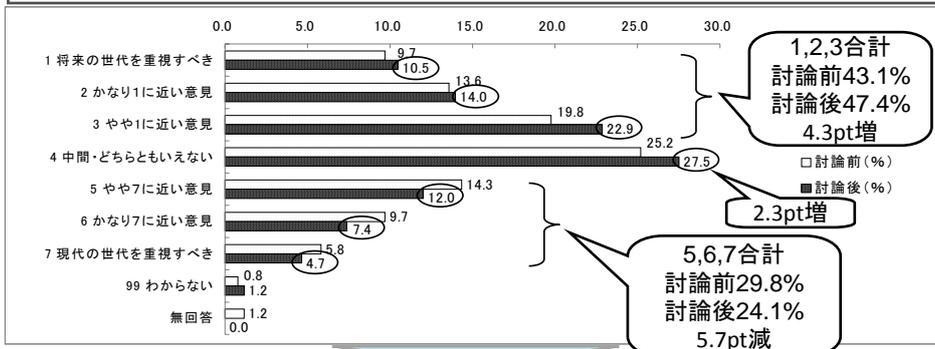
- ・一律の基準で実施すべきという人(選択肢1、2、3)が14.3ポイント減少
- ・地域ごとの基準で実施すべきという人(選択肢5、6、7)が10ポイント増加
- ・中間・どちらともいえないという人(選択肢4)が6.2ポイント増加

### 1-3. 政策の重点は、将来の世代と現代の世代のどちらにおくべきか

問 政策の重点は、これから生まれてくる将来の世代におくべきか、あるいは現代の世代におくべきか、どちらがよいと思いますか。

**【選択肢】**

1. 将来の世代を重視すべき 2. 1にかなり近い意見 3. やや1に近い意見 4. 中間・どちらともいえない 5. やや7に近い意見 6. かなり7に近い意見 7. 現代の世代を重視すべき 99. わからない



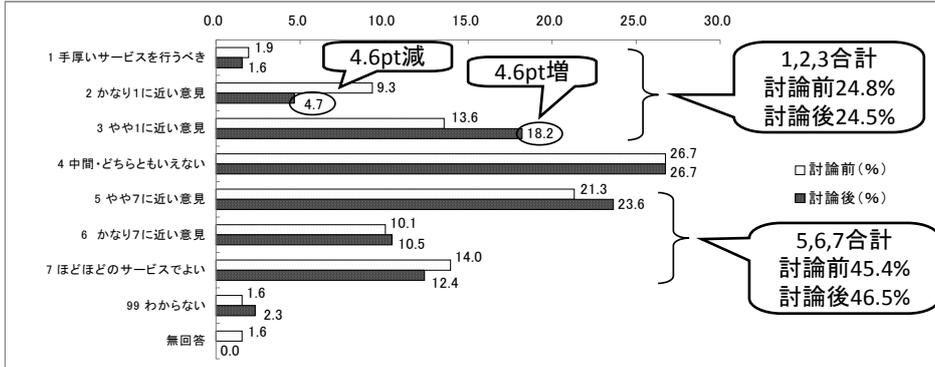
- ・将来の世代を重視すべきという人(選択肢1、2、3)が4.3ポイント増加
- ・現役の世代を重視すべきという人(選択肢5、6、7)が5.7ポイント減少
- ・中間・どちらともいえないという人(選択肢4)が2.3ポイント増加

### 1-4. 行政サービスの受益と負担のバランス

問 行政は、たくさんの税金を使って手厚いサービスを行うべきか、税金をあまり使わずにほどほどのサービスを行うべきかどちらがよいと思いますか。

**【選択肢】**

1. 手厚いサービスを行うべき 2. 1にかなり近い意見 3. やや1に近い意見 4. 中間・どちらともいえない  
5. やや7に近い意見 6. かなり7に近い意見 7. ほどほどのサービスでよい 99. わからない



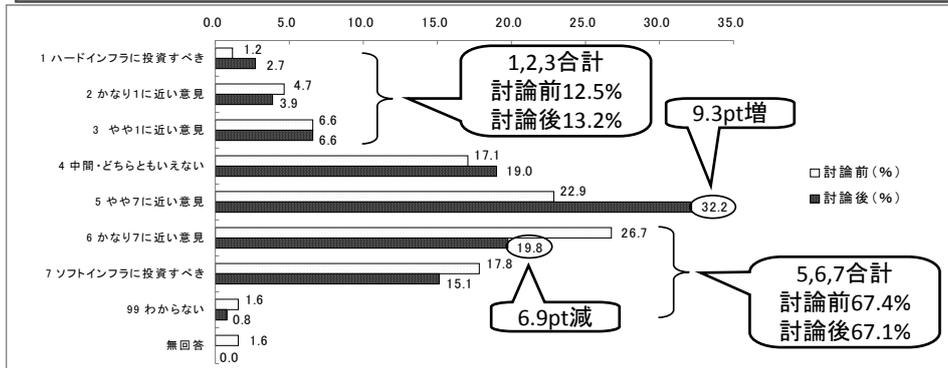
・手厚いサービスを行うべきという意見にかなり近いという人(選択肢2)が4.6ポイント減少  
・手厚いサービスを行うべきという意見にやや近いという人(選択肢3)が4.6ポイント増加

### 1-5. 投資対象はハードインフラかソフトインフラか

問 今後、藤沢市が重点的に投資すべき公共インフラは、公共施設・道路などのハードインフラ(形があるもの)、教育・福祉などのソフトインフラ(形のないもの)のどちらだと思いますか。

**【選択肢】**

1. ハードインフラに投資すべき 2. 1にかなり近い意見 3. やや1に近い意見 4. 中間・どちらともいえない  
5. やや7に近い意見 6. かなり7に近い意見 7. ソフトインフラに投資すべき 99. わからない



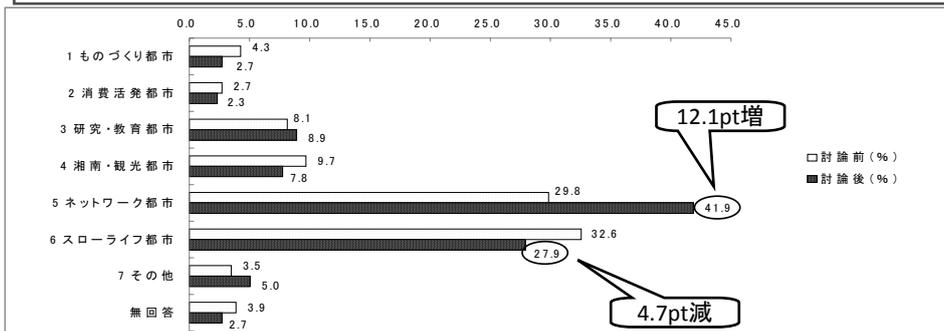
・ソフトインフラに投資すべきという意見にやや近い人(選択肢5)が9.3ポイント増加  
・ソフトインフラに投資すべきという意見にかなり近い人(選択肢6)が6.9ポイント減少

### 1-6. 藤沢市が目指すべき都市像

問 今後、藤沢市は、どのような都市を目指すべきだと思いますか。(1つ選択)

【選択肢】

1. 製造業者と協力して工場を誘致し、「ものづくり都市」を目指す
2. デパート、ショッピングモールなどの大型商業施設を誘致し、「消費活発都市」を目指す
3. 大学や研究所などを誘致し、「教育・研究都市」を目指す
4. 江の島などの「湘南ブランド」の観光資源を売り出し、「湘南・観光都市」を目指す
5. 行政、住民、企業、市民団体の連携によって市全体を活性化する「ネットワーク都市」を目指す
6. 市民の健康維持と環境保護の観点から、都市開発などによる成長を目標とせず、人間と都市の持続可能性を重視した「スローライフ都市」を目指す
7. その他( )を目指す
99. わからない

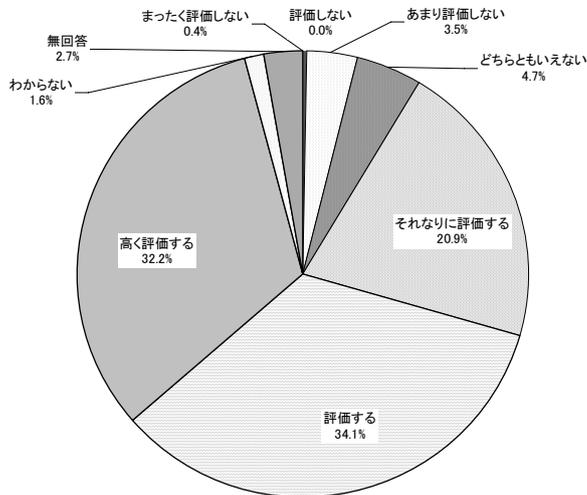


- ・「ネットワーク都市」を目指すべきという人(選択肢5.)が12.1ポイント増加
- ・「スローライフ都市」を目指すべきという人(選択肢6.)が4.7ポイント減少

## アンケート結果② 「藤沢のこれから、1日討論」に関する設問

2-1. 「藤沢のこれから、1日討論」を総合計画策定に活用することについて

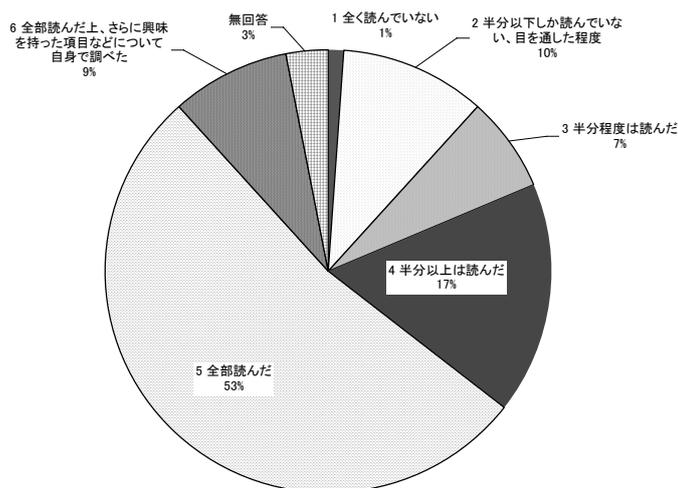
問 本日の討論で出てきた意見が、市の総合計画策定に際して、活用されるとしたら、どのように思いますか。



87%の人が、討論で出てきた意見を総合計画策定に活用することを評価すると回答

2-2. 「藤沢のこれから、1日討論」の事前送付資料について

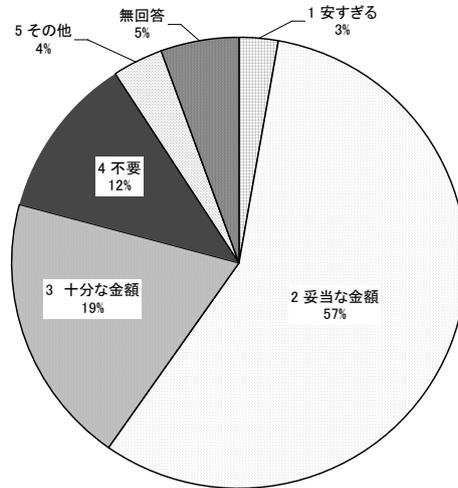
問 本日の討論に参加するまでに、郵送で受け取った資料をお読みになりましたか。



事前送付資料を全て読んだという人が60%以上

### 2-3. 「藤沢のこれから、1日討論」の謝礼金について

問 謝礼金について、どのように思いましたか。



妥当・十分な金額と答えた人が75%以上

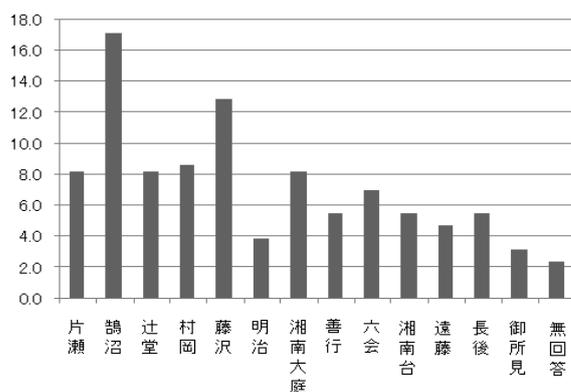
## アンケート結果③ 参加者自身に関する設問

### 3-1. 居住地域について

問 あなたのお住まいの地域はどちらですか。

【選択肢】

1. 片瀬 2. 鵜沼 3. 辻堂 4. 村岡 5. 藤沢 6. 明治 7. 湘南大庭 8. 善行 9. 六会 10. 湘南台  
11. 遠藤 12. 長後 13. 御所見

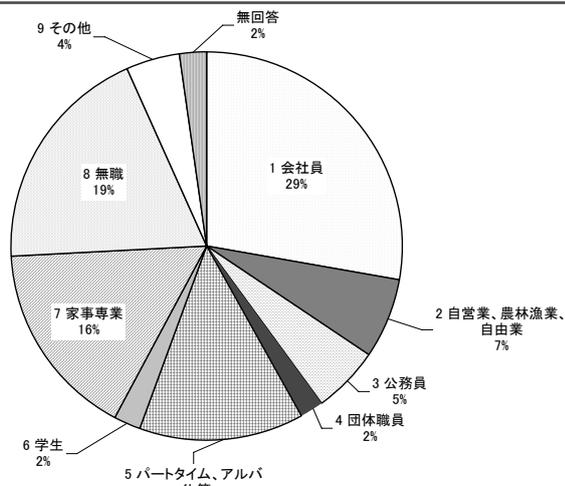


### 3-2. 仕事について

問 あなたの現在の主なお仕事は、次のどれにあたりますか。

【選択肢】

1. 会社員 2. 自営業、農林水産業、自由業 3. 公務員 4. 団体職員 5. パートタイム、アルバイト等 6. 学生  
7. 家事専業 8. 無職 9. その他

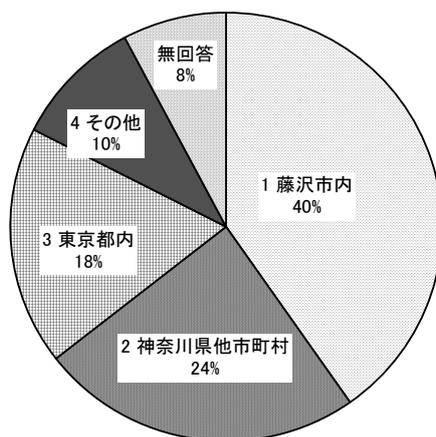


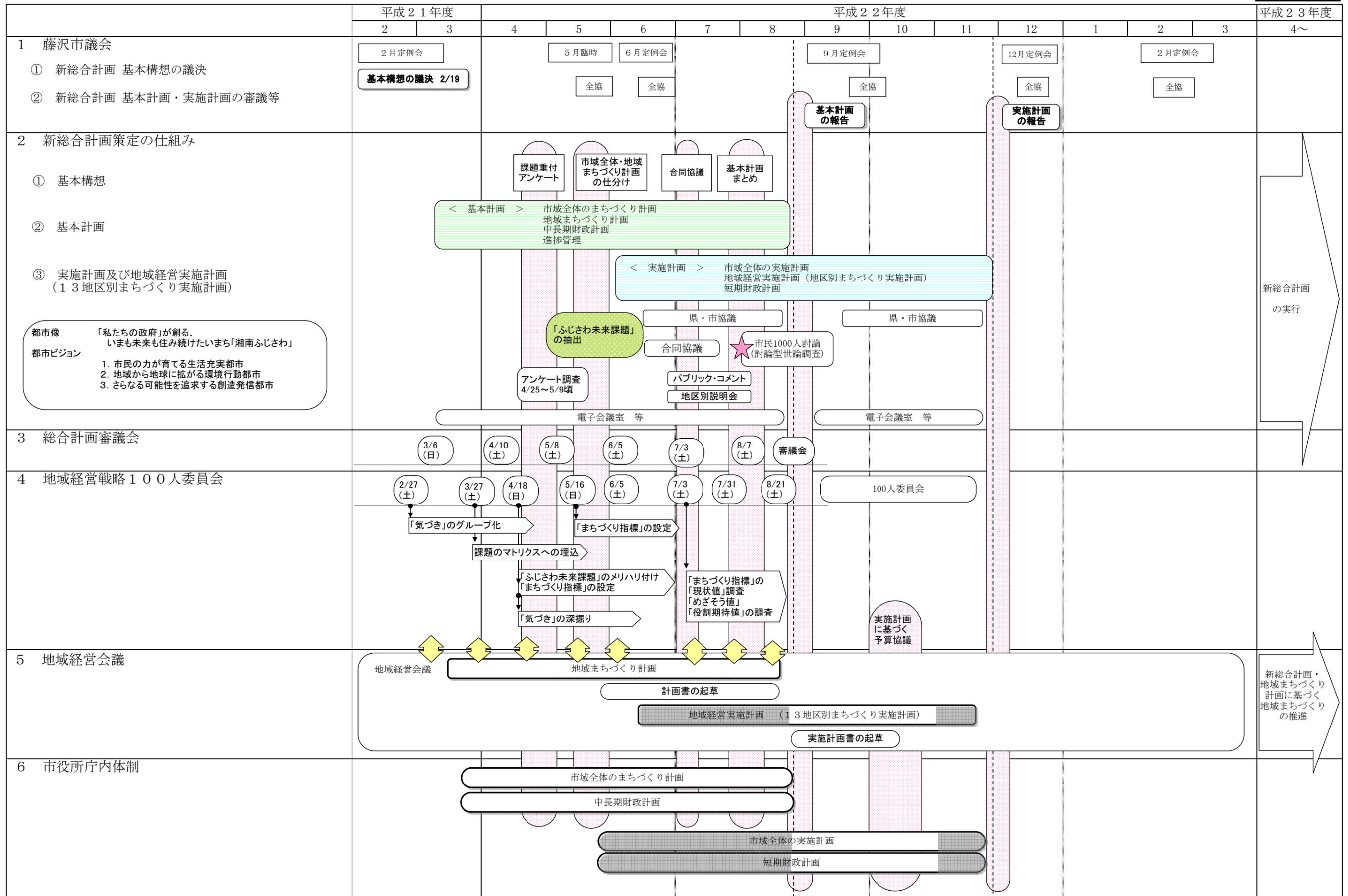
### 3-3. 通勤(通学)地域について

問 あなたは主にどこの地域で仕事(学業含む)をしていますか。

【選択肢】

1. 藤沢市内 2. 神奈川県他市町村 3. 東京都内 4. その他





## 地域経営戦略100人委員会 今後の予定について

地域経営戦略100人委員会の今後の予定は、次のとおりです。

年度末、年度初めに各種事業の開催も予定されていらっしゃるものと存じますが、よろしく願いいたします。(日程、開催場所は変更することがありますので、あらかじめご了承ください。)

### 地域経営戦略100人委員会分科会 (任意参加)

と き 3月15日(月) 午後7時～午後9時  
と ころ 藤沢市役所職員会館3階第4・5会議室  
内 容 気づきの分類

### 第7回地域経営戦略100人委員会

と き 3月27日(土) 午後2時～午後4時30分  
と ころ 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス  
内 容 気づきの分類とふじさわ未来課題探し

### 第8回地域経営戦略100人委員会

と き 4月18日(日) 午後2時～午後4時30分  
と ころ 藤沢市役所新館7階第7会議室  
内 容 市民アンケート調査の内容検討

※ 市と慶應義塾大学で無作為抽出により発送・集計するものです。

### 第9回地域経営戦略100人委員会

と き 5月16日(日) 午後2時～午後4時30分  
と ころ 明治市民センター健康プラザ(体育室)  
内 容 市民アンケート調査結果とふじさわ未来課題の検討(気づきの深掘り)

### 第10回地域経営戦略100人委員会

と き 6月5日(土) 午後2時～午後4時30分  
と ころ 長後公民館体育室  
内 容 ふじさわ未来課題の検討と基本計画づくり

### 第11回地域経営戦略100人委員会

と き 7月3日(土) 午後2時～午後4時30分  
と ころ 明治公民館健康プラザ(体育室)  
内 容 基本計画素案による総合計画審議会との合同協議

### 第12回地域経営戦略100人委員会

と き 7月31日(土) 午後2時～午後4時30分  
と ころ 湘南台公民館  
内 容 基本計画案の確認

# 地域経営戦略100人委員会（Team238）

## ～ 基本計画策定へ向けて～

- |               |        |
|---------------|--------|
| 1. 基本構想について   | — P.02 |
| 2. 基本計画づくりの流れ | — P.09 |

平成22年2月27日

地域経営戦略100人委員会（Team238）



---

# 1. 基本構想について

- 1-1. 新総合計画の位置付け
- 1-2. 新総合計画のフレームと構成
- 1-3. 基本構想の全体像

### ◆ 総合計画とは...

地域を挙げて総合的・計画的にまちづくりを進める際の指針として、市民生活のさまざまな分野の施策（＝課題への取り組み）を明らかにしたもの

### ◆ 新総合計画の位置付け

一般的にこれまでの総合計画は、行政のみが利用することを想定した「行政管理をするための計画」でしたが、新総合計画は、「地域市民」、コミュニティと行政が協働で活用する「地域経営」や、市民主体の「藤沢づくり」を推進するための計画として位置づけます。

「ふじさわ総合計画2020（1999～2001策定）」の策定以降、本市を取り巻く社会環境や経済状況、産業構造や住民意識などが大きく変ぼうを遂げています。また価値観の多様化や社会の複雑化から「新しい地域経営」「新しい公共経営」を構築する時期を迎えています。

これらの状況を踏まえ、本市が目指すべき将来像や、まちづくりの理念、基本目標や施策の体系などを再構築し、「一生住み続けたいまち 湘南藤沢」の実現を図るため新総合計画の策定を行います。

（広報ふじさわ2009/7/10より）

行政が他の法令や総合計画に基づき部門、事業ごとに策定する都市マスタープラン、地域福祉計画、地域IT基本計画、環境基本計画などの計画は、この新総合計画の基本構想に示す理念や方向性に即し、またプロセスを踏まえて見直しや策定を行います。

## これからの時代

### 10年後、20年後の予測が万全ではない時代

⇒ 思わぬ出来事や変化に対応できる新しいシステムを作っておくことが必要。



## 藤沢市の新システム

### 「私たちの政府」による「藤沢づくりへ」

⇒ 正確な予測の絵を描くよりも、市民・地域・行政が協働して柔軟に対応できる仕組みを中心におき、かつ、その仕組みを進化させ続けることを念頭に置く。



## 新総合計画の挑戦

### 地域市民、コミュニティ、行政が活用する計画

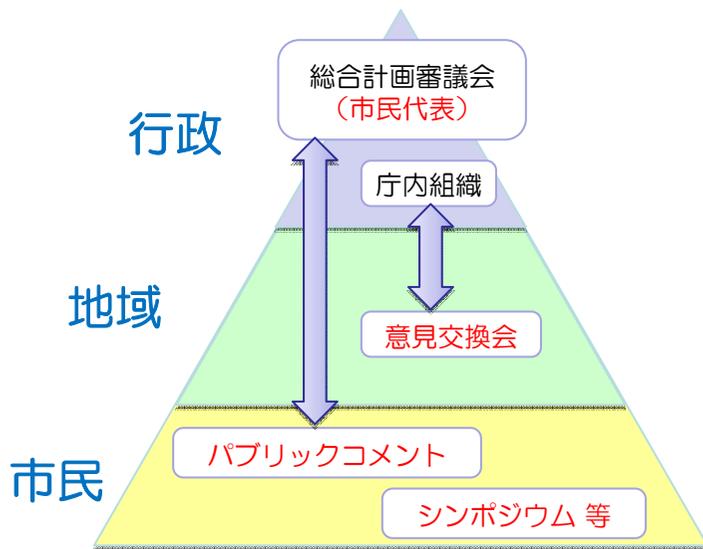
⇒ 藤沢市の将来を考える、未来へ向けて実践する、地域社会の現状を評価するときに活用できる計画へ。地方分権の姿を先取った自治体の新たな挑戦としての計画へ。



要点1：市民力・地域力・行政力の結集と相乗効果

従来モデル

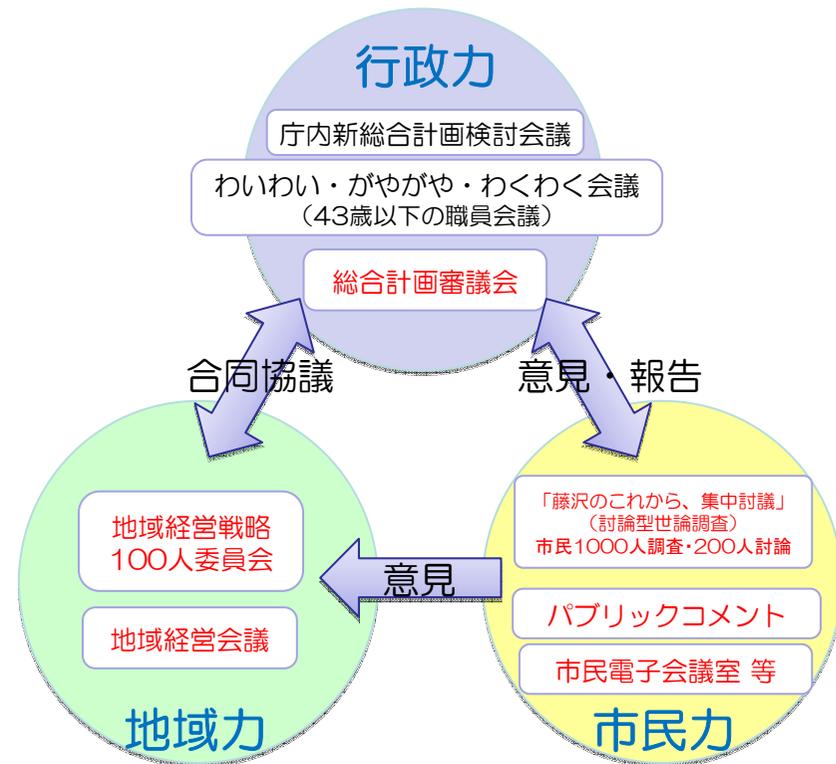
行政主体の活動が中心であり  
市民参画も限定的



※赤字…市民の参画機会

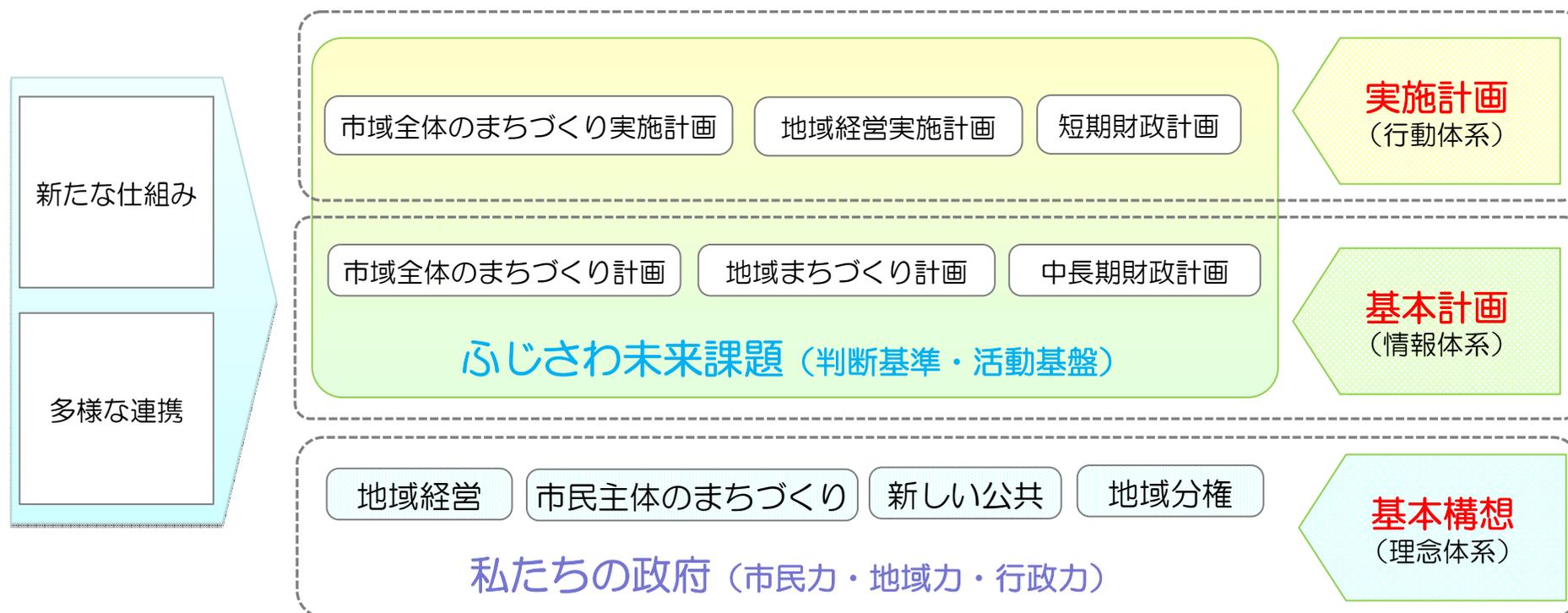
藤沢モデル

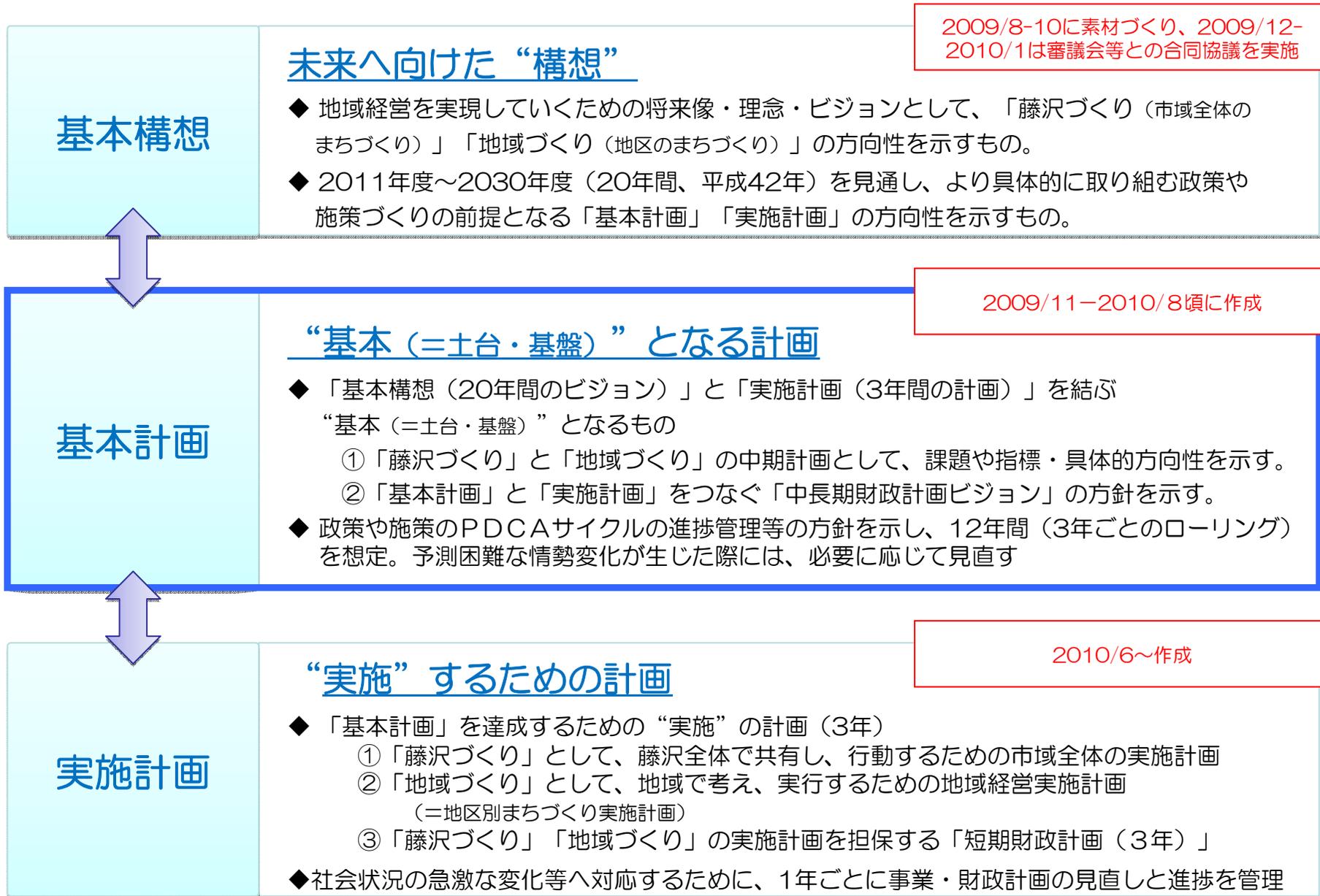
「市民力」「地域力」「行政力」を組み合わせる計画を創り出し、その計画に基づいて進める自律と協働による自治の仕組み



### 要点2：地域経営の試行錯誤を進めていく仕組みとプロセス

- ・新総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画の3つの要素より構成
- ・分権の仕組みにこだわり、地域経営を進めていくための仕組みとプロセスを進める
- ・生活者の実感を起点に、市民生活や課題の現状を常に確認しながら、行政も地域も試行錯誤をする





「私たちの政府」宣言

- 「生活者の実感」で進める「藤沢づくり」をします。
- 「市民力」「地域力」「行政力」を発揮する「藤沢づくり」をします。
- 「私たちの政府」による自律と協働の「藤沢づくり」をします。

<p>将来像 (20年後までの 自律と協働の姿)</p>	<p>「私たちの政府」が創る、いまでも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」</p>		
<p>実現への 基本理念</p>	<p>地域経営による永続的な市民主体の「藤沢づくり」を実現します</p>	<p>市民と創る「自律するまち」の行政システムを構築します</p>	<p>協働して広域連携を展開します</p>
<p>将来像を実現する「藤沢づくり」のめざす姿と活動</p>	<p>藤沢の都市ビジョン 市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿</p>	<p>「藤沢づくり」のめざす方向性 ～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～</p>	
<p>市民の力が育てる 生活充実都市</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち</li> <li>2. 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境</li> <li>3. 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち</li> </ol>		
<p>地域から地球に広がる 環境行動都市</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 共に生き、共に創る地域社会の創出</li> <li>5. 豊かな地域資源の次世代への継承・発展</li> <li>6. 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資</li> </ol>		
<p>さらなる可能性を 追求する創造発信都市</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>7. 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生</li> <li>8. 公共資産の維持管理と有効活用</li> <li>9. 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出</li> </ol>		

---

## 2. 基本計画づくりの流れ

- 2-1. 基本計画の役割とポイント
- 2-2. 基本計画の策定スケジュール（案）
- 2-3. 「ふじさわ未来課題」の整理・活用方法

### 基本計画の役割：「基本（＝土台・基盤）」となる計画

- ◆ 「基本構想（20年間のビジョン）」と「実施計画（3年間の計画）」を結び「基本（＝土台・基盤）」となるもの
  - ① 「藤沢づくり」と「地域づくり」の中期計画として、課題や指標・具体的方向性を示す。
  - ② 「基本計画」と「実施計画」をつなぐ「中長期財政計画ビジョン」の方針を示す。
- ◆ 政策や施策のPDCAサイクルの進捗管理等の方針を示し、12年間（3年ごとのローリング）を想定。予測困難な情勢変化が生じた際には、必要に応じて見直す



#### ポイント1. 様々な視点で「課題」を見つけ、メリハリを付けて整理する

- ★ 未来を実現するための「課題（＝改善すること&伸ばすこと）」を、様々な視点で徹底的に洗い出す。（①生活実感から洗い出す& ②活動実感から洗い出す& ③行政実感から洗い出す）
- ★ 政策・施策の重点化と目標の設定のために、メリハリある形で整理する（重み付けをする）。



#### ポイント2. 「課題」を「共通の目標」として視るための指標をつくる

- ★ 「課題の深掘り」を経て、地域や領域の現状を測れる「指標」を設定する。
- ★ 様々な主体が共通の目標（指標）を持ち、協働で評価できるようにする。
- ★ 各地域の特徴を反映した「地域まちづくり計画」にも「課題」や「指標」を位置づける。



#### ポイント3. PDCAサイクルの「進捗管理システム」を位置づける

- ★ 持続的なPDCA (Plan-Do-Check-Action)のサイクルを回すための仕組みを設計する。
- ★ 全市域と各地区で、相乗効果が出るように共通の枠組みを設計する。
- ★ 「基本計画」と「実施計画」をつなぐ「中長期財政計画ビジョン」の方針を示す。

### (1) 【集める】 “気づき” の収集（11月-1月）

- ◎ 11/01 [第3回委員会]      ① “気づき” の収集（準備活動・演習）
- ◎ 11/29 [第4回委員会]      ① “気づき” の収集（方法確認）、④ “気づき” の深掘り（準備活動・演習）
- ◎ 11/30-1/31 [各地区・領域で]      ① “気づき” の収集（収集活動と随時提出）

※ 第5回委員会(12/12)・第6回委員会(1/24)：「基本構想」について審議会との合同協議

★ 藤沢市全域・各領域から、合計約13400枚の“気づきアンケート”を収集済み★

### (2) 【読み解く】 「ふじさわ未来課題」へ向けた整理（2月-3月）

(2月上～下旬) [コーディネータチームで] “気づき” のデータ化・フレーズ調整・分類用カード作成  
※ 以前に集めた情報も活用

- ◎ 2/27 [第7回委員会] ② “気づき” のグループ化（整理表（マトリックス\*）の検討）

(3月上～中旬) [コーディネータチームで] “気づき” のデータ化・フレーズ調整・分類用カード作成  
[庁内検討会議などで] 行政実感などからの検討活動の推進（以下、平行して推進）

- ◎ 3/27 [第8回委員会] ② “気づき” のグループ化（整理表（マトリックス）へのカード仕分けと統合化）

(4月上旬) [コーディネータチームで] 仕分けデータ入力・集約作業、抜けている箇所の整理  
整理表への整理・集約案の作成

\* 「マトリックス」とは：情報を整理するための格子状の枠組みのこと（右図）。  
（ラテン語で「何か生み出すもの」を意味する言葉も持つ）


※ 実施時期などは変更の可能性があります。

### (3) 【メリハリ】 「重み付け」の調査（4-5月）

### (4) 【指標づくり】 「まちづくり指標」の設定（5-8月）

- |                  |  |
|------------------|--|
| ◎ 4/18 [第9回委員会]  | <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 「重み付け調査」についての確認（調査準備・趣旨説明）</li> <li>④ “気づき”の深掘り（「ふじさわ未来課題」への深掘りと指標検討）</li> <li>⑤ 「まちづくり指標」の設定（調査準備・趣旨説明）</li> </ul> |
| ◎ 4月下旬 [全市で]     | <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 「重み付け調査」の実施<br/>（無作為に対象者を選定し、1万人規模（予定）のアンケート調査を実施）</li> <li>④ “気づき”の深掘り</li> </ul>                                  |
| ◎ 5/16 [第10回委員会] | <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 「重み付け調査」の確認（メリハリ付けの確認）</li> <li>④ “気づき”の深掘り</li> <li>⑤ 「まちづくり指標」の設定（指標の検討、関連活動の情報統合）</li> </ul>                     |
| ◎ 6/5 [第11回委員会]  | <ul style="list-style-type: none"> <li>④ “気づき”の深掘り</li> <li>⑤ 「まちづくり指標」の設定（指標の検討、関連活動の情報統合）</li> </ul>   |
| ◎ 7/3 [第12回委員会]  | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥ 「まちづくり指標」の「現状値」調査（調査準備）</li> <li>⑦ 「めざそう値」「役割期待値」の調査（関係主体の取り組み方法を設定）</li> </ul>                                     |

### (5) 【まとめる】 「地域まちづくり計画」として記述（6-8月）

- |        |                                   |
|--------|-----------------------------------|
| ◎ 6-8月 | ⑧ 「基本計画書」の記述（地区別計画・市域計画の素案への意見交換） |
|--------|-----------------------------------|

### 【ふじさわ未来課題の整理表を作成】

地区・領域から集めた生活実感・活動実感、行政実感を、相乗効果が出るように活用するために、一つの枠組みに整理する

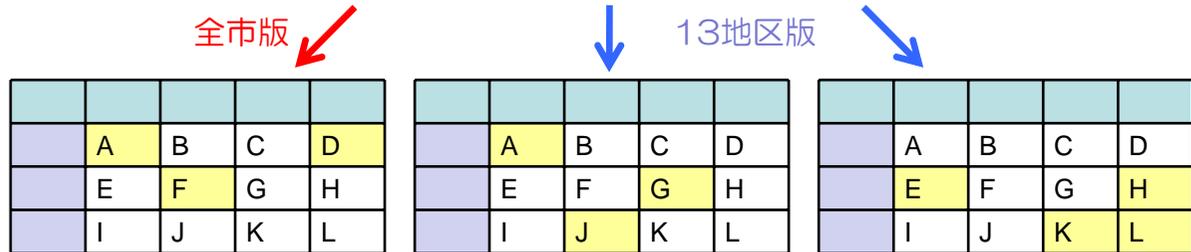
(深掘り時に活用するために、もとの発言や出所がわかるようにしておく)



### 【地域ごとのメリハリ】

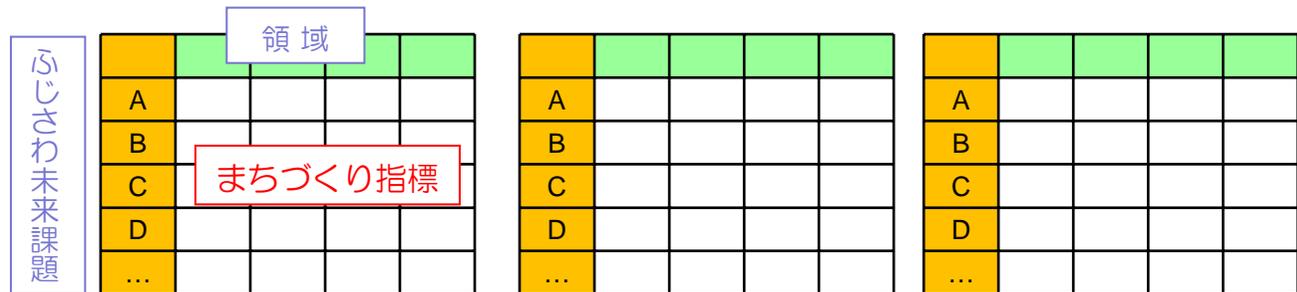
全市調査を行い、地域ごとにメリハリ付けをする

(※ 統計的アンケート調査を実施)



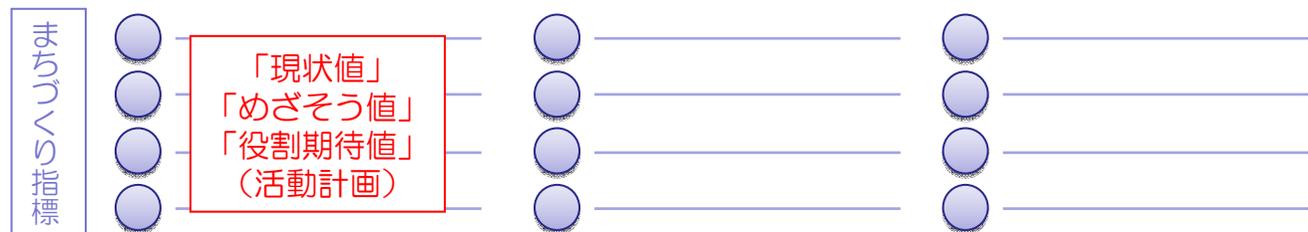
### 【まちづくり指標の設定】

“気づき”の深掘りを経て、「ふじさわ未来課題」に取り組む際の「まちづくり指標」を設定する



### 【指標達成への取り組み方を設定】

「まちづくり指標」の目標設定とその達成に向けた主体と活動の計画を設定



## 気づきの収集結果と分類について



平成22年2月27日

地域経営戦略100人委員会（Team238）

## 基本計画 (「基盤・基準」)

「生活者の実感」を起点に

生活者の発見（現場の知）に基づく情報の体系化

地域経営の試行錯誤を進めていく

活動の裏付け・論拠・尺度を明確にする

「藤沢づくり（全市）」と「地域づくり（13地区）」

地域の個性を出しつつ、バラバラにならない共通点を持つ

## 2. 「ふじさわ未来課題」の整理・活用方法

### 【ふじさわ未来課題の整理表を作成】

地区・領域から集めた生活実感・活動実感、行政実感を、相乗効果が出るように活用するために、一つの枠組みに整理する

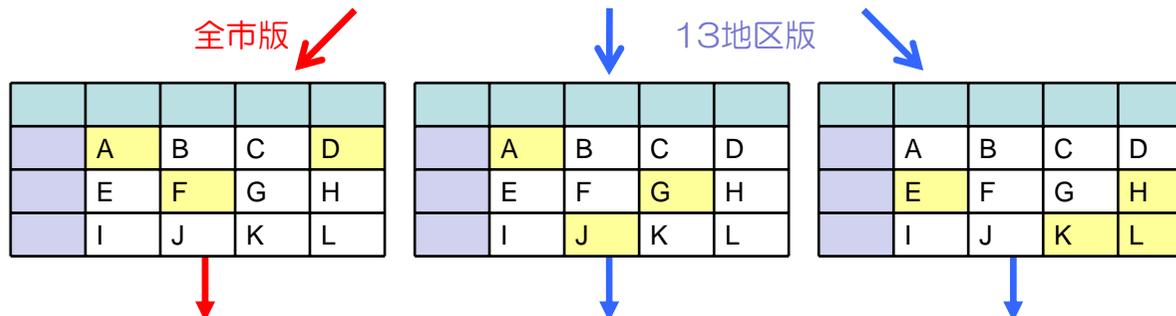
(深掘り時に活用するために、もとの発言や出所がわかるようにしておく)



### 【地域ごとのメリハリ】

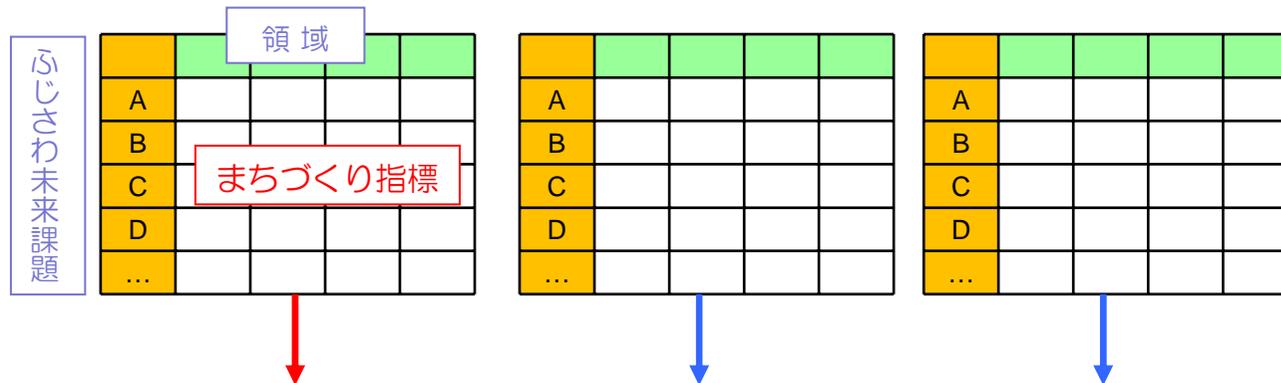
全市調査を行い、地域ごとにメリハリ付けをする

(※ 統計的アンケート調査を実施)



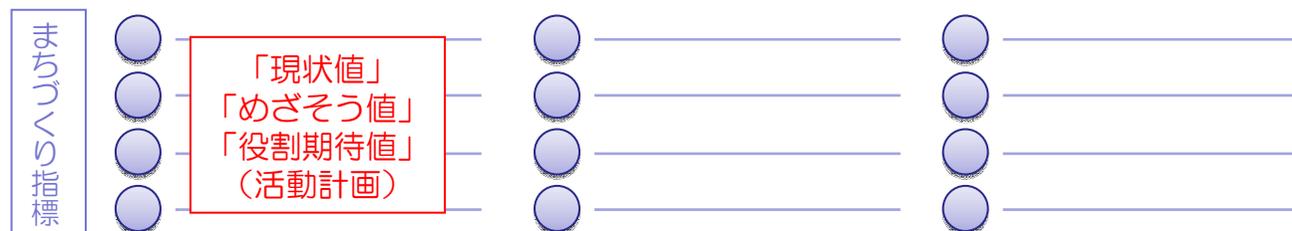
### 【まちづくり指標の設定】

“気づき”の深掘りを経て、「ふじさわ未来課題」に取り組む際の「まちづくり指標」を設定する



### 【指標達成への取り組み方を設定】

「まちづくり指標」の目標設定とその達成に向けた主体と活動の計画を設定



#### ■ 具体的な作業

#### <作業の流れ>

#### <先行分析（3000件）の作業例>

#### 1. 回答コメントのデータ化

共通フォーマットにデータ入力

#### 2. 入力データから 「理想の状態」を抽出

コメントをワンフレーズの「理想の状態」に分解する。  
※ 文意から読み解き、複数の意味があるものは複数に分解する

⇒ 5つの設問で計11,365個の発言に分解

ID	元のコメント
1	近くに海があり、海岸もきれい



ID	元のコメント	理想の状態(1)
1	近くに海があり、海岸もきれい	近くに海があること
1	近くに海があり、海岸もきれい	海岸がきれいなこと

#### ■ 具体的な作業

#### <作業の流れ>

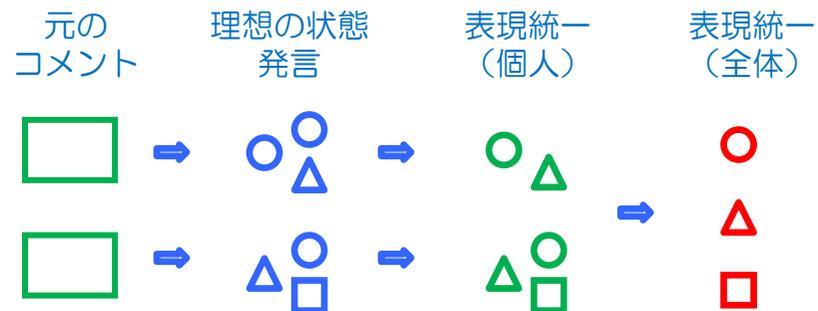
### 3. 「理想の状態」の 表現統一

- ⇒ 抽象度をあげることで類似情報を集約し、判断しやすくする
- ⇒ 集約した表現と元のコメントはひも付けをしておく。  
課題の深掘りや指標設定時、実施計画検討時に活用。

#### <先行分析（3000件）の作業例>

- ① 作業員1人1人が、まず表現の統一をする  
 設問1：2007発言 ⇒ 84項目  
 設問2：2293発言 ⇒ 100項目  
 設問3：2358発言 ⇒ 81項目  
 設問4：2368発言 ⇒ 82項目  
 設問5：2339発言 ⇒ 261項目
- ② 作業チーム全体で、表現の統一をする  
 608発言 ⇒ 205項目

#### 【イメージ図】



#### ■ 今日 「ふじさわ未来課題」を整理する「集約表（マトリックス）」を作成

1. 基本構想で提示された方向性（「藤沢づくり」の9つの方向性）から、そのグループ（地区・領域）で、作業を担当するものを設定。

##### 【藤沢づくりの9つの方向性】

1. 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち
2. 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境
3. 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち
4. 共に生き、共に創る地域社会の創出
5. 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
6. 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資
7. 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
8. 公共資産の維持管理と有効活用
9. 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

2. 先行分析（3000件＝全体の約1/4）を通じて集約された205項目から、1に関連するものを抽出。
3. 2をグループ化 → 発表  
→ 「ふじさわ未来課題」を分かりやすく整理するための「集約表」の見出しのヒントとして活用（コーディネータチームで集約）

#### ■ 次回 設定した「集約表」への仕分け作業

# 参考) 青森市まちなかの生活価値表 (生活価値マトリックス)

縦軸 : 生活者がまちなかで行う「生活場面(状況)」で設定

横軸 : まちなかの魅力や期待している経験として挙げられた「価値項目」で設定

	安心だ	楽しい	お手頃・気軽・楽しんだ	つながり	ためになる・役に立つ
買う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思い立ったとき買い物に出かけやすい</li> <li>・安全で質のよいものを選べる・買える</li> <li>・ギフトも、お惣菜も、お土産も買える</li> <li>・通いなれたまち、なじみのお店で買える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなお店や品物と出会う</li> <li>・新しい流行、ファッションがわかる</li> <li>・なじみのお店で楽しく買い物できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ついで買い」がしやすい(散歩しながらなど)</li> <li>・「とっさ買い」がしやすい(夕食前後も、会合の前後、仕事帰りなど)</li> <li>・「ちょっと買い」や「出来合いもの買い」がしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみのお店がある・融通が利く</li> <li>・おまけやスタンプ、いろいろなサービスをしてもらえる</li> <li>・お店で会話を楽しみ時間をつぶせる</li> <li>・子どもといっしょに買い物ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よいもの、新しいもの、珍しいものなどが買える</li> <li>・品物やサービスに詳しくなれる</li> <li>・新しい店、変わった店、きれいな店が見つかる</li> </ul>
食べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも大勢でも子連れでも食事ができる</li> <li>・地域の豊かな山海の幸を食べられる</li> <li>・安全で質の良い食材を食べられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ歩きを楽しめる</li> <li>・友だちや家族とくつろいで食事を楽しめる</li> <li>・おしゃれな会食が楽しめる</li> <li>・和洋中いろいろな食事を楽しめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前や会食、屋台やファストフード、いろいろな形で食事できる</li> <li>・料理や値段の幅が広く、お手頃なものがある</li> <li>・季節感やおしゃれさ、気分に合わせた食事ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみのお店で食事ができる</li> <li>・友だちや家族といっしょにくつろいで食事ができる</li> <li>・郷土食や地域の食材を使った食事ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レストランから手軽な屋台まで、目的や時間にあわせて食事ができる</li> <li>・高級・B級、予算にあわせていろいろなメニューを楽しめる</li> <li>・にぎやか、しんみり、おしゃれ、気分にあわせて食事ができる</li> </ul>
遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが元気に遊べる場所があること</li> <li>・夏でも冬でも、朝でも夜でも遊べる</li> <li>・屋内でも屋外でも遊べる</li> <li>・まちの緑や海を楽しみながら遊べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな楽しみ、遊びができる(映画もネットカフェもつりもヨットも)</li> <li>・いつでも、四季折々に楽しみがある(ねぶたも雪祭りも)</li> <li>・いろいろな友人と趣味や遊びを楽しめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふだん、お気軽に時間をつぶしている</li> <li>・お祭りやイベントに足を運びやすい</li> <li>・一人でも、友だちや家族といっしょでも楽しめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味や同好の仲間を作りやすい</li> <li>・身近な地域の祭りやイベントがある</li> <li>・いろいろな世代の人が集まってくる</li> <li>・子どもたちの遊ぶ声や姿がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味を始めたり同好の集いを開きやすい</li> <li>・ねぶたなどを毎日楽しみ自慢できる</li> <li>・映画やイベント・コンサートを楽しむ</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や親の目がゆき届いている</li> <li>・まちの人が子どもに気軽に声をかけてくれる</li> <li>・教育・文化の施設に行き来しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館で静かに知的に楽しめる</li> <li>・同じ目的で学ぶ人と出会う</li> <li>・青森をよく知る機会が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館など文化施設や教養講座に行きやすい</li> <li>・気軽に読書していただける(図書館も喫茶店も)</li> <li>・遊んだり楽しみながら学びやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもも大人もいっしょに学んだりお稽古をしやすい</li> <li>・ふだんからまちの文化に触れられる</li> <li>・図書館や学校が近くて集まりやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、進学塾、図書館など学ぶ環境が充実している</li> <li>・趣味や専門の勉強を続けやすい</li> <li>・流行やファッションを知りやすい</li> <li>・歴史や文化、アートに親しみやすい</li> </ul>
住む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近所の底力がある(商店街や町会)</li> <li>・病院や働く場所が近くて安心できる</li> <li>・冬の暮らしの負担(雪かき)が小さい</li> <li>・何かのとき近くの誰かに相談しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青森らしい祭りやイベントが近くにある</li> <li>・身近な風景に青森らしさがある</li> <li>・子どもたちや若者とふれあえる</li> <li>・冬も歩きやすく、暮らしを楽しめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス・電車にも、自転車にも乗りやすい</li> <li>・歩く範囲でたいがいの用が足せる</li> <li>・近くに病院や働く場所がある</li> <li>・天候や季節をあまり気にしなくていい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの人が優しく、地域を好きな人が多い</li> <li>・いろいろな世代や地域の人と知りあい交流できる</li> <li>・他人とほどよいふれあいができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい発見や驚きがある</li> <li>・いろいろな気分転換ができる</li> <li>・自然、季節を感じながら暮らせる</li> <li>・住みたい、住み続けたいと思える</li> </ul>